

第3学年1組 国語科学習指導案

令和 5年 6月 13日(火) 5校時
場所 3年1組 教室
授業者 大口梓

研究主題

自分の考えや思いを伝え合うことのできる児童の育成
～国語科における伝え合う力を伸ばす学習を通して～

分科会の目指す児童像

多様な意見を受け入れ、考えを深めることができる児童

- 1 単元名 「書き手のくふうを考えよう」
教材名 『遠足だより』を作ろう

- 2 単元の目標 二つの「ほけんだより」を読み比べて、書き手の目的や意図に照らして文章の工夫や効果を読み取ることができる。伝えたいことを的確に伝えるための書き手の工夫を知り、自分でも書くことができる。

3 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的な学習に取り組む態度
①考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。	①「読むこと」において段落相互の関係に着目しながら考えとそれを支える理由や事例との関係などについて叙述を基に捉えている。 ②相手や目的を意識して伝えたいことを選び、理由や事例との関係を明確にして書き表し方を工夫している。 ③伝えたいことの事例や理由などの関係に着目しながら叙述を基に捉えている。	①これまでに学習したことを振り返って学習課題を明確にして積極的に考えとそれを支える理由や事例との関係などについて叙述を基に捉え、2つの文章を比べて考えたことを伝え合おうとしている。 ②思いや考えを伝えるために書き手の工夫をすすんで考えようとしている。

4 児童の実態

本学級の児童は昨年2年生の時に『サツマイモのそだて方』における、2つの文章を読み比べて分かったことや考えたことを伝え合う活動を経験している。文章を読み比べるときに、同じ所や違うところを自力で探して読むことは7割の児童はできている。本単元では、5月の「自然のかくし絵」で学んだ「だん落の内ようをとらえる」力を生かして、書き手の文章の工夫や効果を読み取る力を身に付けさせたい。そして2つの文章を3つの段階に分けて読み比べることで残りの3割の児童も学習内容を正しく理解できるようにする。また全体での発表をためらう児童も少なくない。まずはペア活動を多く取り入れ、少人数のグループで発表する場を設定し、自信をつけさせたい。徐々に全体での発表を促していく。

5 単元観

(1)学習指導要領の位置付け

この単元における重点事項は、学習指導要領における「思考力・判断力・表現力等」の読むこと「段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて叙述を基に捉えること」である。本単元は説明文において読み比べを通して表現の工夫に目を向けさせることを目的とした系統に位置付けられる。この単元では同じ目的だが、事例の取り上げ方（アプローチの仕方）が異なる2つの文章を読み、その違いを考える。さらに4年の同系統の単元では広告を読み比べる。写真やキャッチコピーといった要素も加え、表現の工夫について深く学んでいく。これらを受けて、本単元では「言葉の力」として「書き手の工夫を読み取る」ことを設定した。系統性にも留意しながら、書き手の工夫を読み取り、「書くこと」領域で応用していく。読解で身に付けた「理由や事例と書き手の考えの関係を整理する力」を「理由や事例を明確にして書く力」へとつなげていきたい。本単元で身に付けた力を理科のレポートや社会科の調べ学習等に活用させる。

(2)「読み解く力の育成」を踏まえた指導のポイント

- 2つの文章を比較し、それらが同義か否かを正しく認識する。〔同義文判定〕
- 文と図、写真を関連付けて内容の理解を深める。〔イメージ同定〕

6 単元指導計画（12時間扱い）

次	時	主な学習活動	6観点	・指導上の留意点 ※読み解く力に関わる留意点
1	1	○学習の見通しを立てる。 ・「遠足だより」を作るために必要な書き方の工夫を学ぶことを理解する。		・学級通信などの文章を読み、伝えたいことと、そのために取り上げた事例と理由の関係を考えさせる。 ・学習のゴールで作るものを見せ、学習意欲を高めさせる。
	2	○2つの文章を正確に読み、段落に分ける。	係り受け解析	・教科書p93の3つの観点について考えていくことを知らせる。 ・文章を読み取るために段落ごとに内容を読み取っていくことを確認させる。 (前単元「自然のかくし絵」) ※文章全体の構成を意識させる。(始め・中・終わり)
2	3～5	○2つの文章を読み比べ、分かったことを話し合う。 ・同じところ、違うところ ・読み手に伝えたいこと	同義文判定	・共通点、相違点などの観点をもち、比べながら読むことを指導する。 ※2つの文章を比べるときには2つの文章を提示してあるワークシートを使い比較しやすくする。
	6	○「ほけんだより」に図や表があったら伝わり方はどのように変わるか話し合う。	イメージ同定	・図や表のない教材文を比べてきたが、今回表や図があるものを見せ書き手の図やその効果について気づかせる。 ※誰に伝えたいかによって書き方が変わることを押さえる。
	7	○自分が大森先生だとしたら、どちらの「ほけんだより」にするか、自分の考えを書く。	推論	・書き手の意図と工夫について理由を挙げて書かせる。 ※目的によって、どちらの文章がよいのかが変わってくることを押さえる。

8 (本時)	○自分の考えを伝え、友達の考えを聞き合い、いろいろな考え方を知る。	同義文判定	・書き手の意図と工夫について理由を挙げて説明させる。 ※自分の考えと同じか違うかを判断させ、次時への活動につなげさせる。
9～11	○「遠足だより」を作る。上手く伝えるために事柄を選んだり、書き方を工夫したりする。	イメージ同定	・グループで伝えたい事柄を選び、それに応じて書き方を工夫させる。
12	○班ごとに作成した学級だよりを読み合い感想を交流する。		・ほかに日常生活で活用できる場面を考えさせる。

7 本時 (8/12)

(1)ねらい

友達の考えを聞き合い、色々な考え方を知ろう。

(2)展開

	○具体的な学習活動・予想される児童の反応 ※読み解く力に関わる児童の反応	◇指導上の留意点 ※読み解く力との関連 ■学習活動に即した具体的な評価規準(評価方法)
導入 5分	○前時の学習を振り返り、本時では理由をはっきりさせて、自分の考えを友達と伝え合うことを確認する。	◇3つの観点から2つの文章を振り返る。
	友達の考えを聞いて、自分の考えに生かそう	
展開 30分	○互いの感じ方の違いを学び、改めて自分の考えを見直してみることを知る。	◇感じ方の違いに気づいて自分の考えに生かすよう投げかけ、学習課題を設定する。
	○ペア毎に自分の考えを発表し、感想を交流する。 ・私は1つめの文章がいいです。朝ご飯がなぜ大切かがよくわかるからです。 ・ぼくは2つめの文章は表を使っているので見やすいし、説得力があると思います。 ○発表したら、聞き役が3種のカードから1つを提示しながら相手に自分の考えなどを伝える。 ①友達の文章に共感したこと→いいね! ②友達の文章を聞いて新たに発見したこと→ひらめき発見! ③友達に聞きたいこと→もっと教えて!	◇書き手の意図と工夫について理由を挙げて説明させる。 【同義文判定】 ※自分の考えと同じか違うかを判断させ、次時への活動につなげさせる。 ◇3種のカードを提示して、友達の話を聞いた後に質問や感想などを交換しあう。 ◇1ペアは3分間交流し、時間になったら席を移動し、別のペアと交流する。 ◇途中で交流の様子がうまくできていたペアを紹介し、中間評価をする。 ■友達の考えを聞いて、「どちらの文章を選んだのか、選んだ理由・感想」をメモしようとしている。(ワークシート・観察)
まとめ 10分	○本時の学習を振り返り、ワークシートに自分の考えを整理する。 ○友達の考えを聞いて、自分の考えがどう広がったかを聞き合う。 ○次時の学習の見通しをもつ。	■ペア活動でまとめきれなかった内容やそこからさらに考えを深めたことなど、最終的に自分の考えを整理して書くことができる。(ワークシート・観察) ※対話をして自分の考えが変わった児童や付け足しをした児童に発表させる。 ◇グループでお便りを作ることを伝え、次時への意欲を高める。

8 板書計画

ほけんだより」を読みくらべよう⑧

めあて〈 友達の考えを聞いて、自分の考えに生かそう。

☆メモすること

①友だちは、どちらの文しよ方がいいと考えているか。

②それはなぜか。(理ゆづ)

③友達の考えを聞いて、思ったこと。(イラストに○をする。)

一つ目の文章

・ イラストがあるので低学年にも分かりやすい。

・ 朝ごはんの大切さがよく分かる。(お家の人にも伝わる)

二つ目の文章

・ 調査をしてわかったことを表にしているのでせつとく力があるのがいい。

・ 朝ごはんを食べる方ほづが書いてあるのがいい。

◎友達の考えを聞いて、自分の考えがかわったり、付けたりしたいことを書こう。

次時の活動「遠足だよりについて」

①書く相手 2年生に向けて

②目的 遠足の内容を伝える。

本校では毎年1・2年生は城北中央公園(または光が丘公園)に2学年で遠足に行っている。3・4年生は和光樹林公園に2学年で遠足に行っている。ちょうど5月に現2年生も3年生もそれぞれの遠足を経験している。遠足の振り返りから「4年生にしてもらったことを今度は自分たちがしてあげたい。」と書いている児童が多かったので、来年度の遠足に向けて、自分たちが知った情報をまだ知らない2年生に伝えるという設定がよいと考えた。














9 ワークシート

「ほげんだより」を読みくらげよう⑧

名前 ()

⑧

自分の考え

名前	どちら の文	それはなぜか。 (理ゆう)	聞いて、思ったこと (○でかこむ。メモする。)
			  
			  
			  
			  
			  

◎ 友達の考えを聞いて、自分の考えがかわったり、つけ足したりした
いことを書こう。

Blank writing area for notes.